

小樽税務署長賞

小樽市立朝里中学校 2年

日向 葵唯

たばこ税でわかったこと

私はたばこ税について調べました。

理由は、保健の授業でたばこが体におよぼす悪影響について学んだからです。たばこに含まれているニコチンという成分には、強い依存性があり、一度吸ってしまうとやめるのが難しくなると学びました。また、たばこを吸い続けると肺がんや心臓病になりやくなることを知り、どうしてそんなに体に悪い物を大人は買うのかと不思議に思いました。

そのとき先生はたばこの税金は、他の商品よりも高い税金がかけられているということを知ってくれました。今回調べてみたら、その税金は私たちの暮らしに使われていました。たばこ税は、道路や学校の整備に使われたり、病院の運営や医療費の補助などにも使われているそうです。たばこ税は、国や自治体の収入の一つとして大切な役割を持っているのです。

日本では、たばこ一箱の値段は六百円前後で、そのうちの約六割が税金ですが世界にはもっと厳しくしている国もありました。たとえばシンガポールでは一箱千円から千五百円以上で売られています。日本よりもとても高く、喫煙できる場所も日本よりも厳しく限られています。ポイ捨てや公共の場での喫煙は、日本と違い高い罰金を払わせられます。このようにたばこを吸いづらい環境をつくることで、人の健康を守ろうと工夫されています。さらに、オーストラリアでは一箱二千五百円以上で、日本の四倍にもなっています。これは世界で最も高いレベルで、成人したばかりの人がたばこを買えないように、税金をあえて高くしているのです。イギリスやアメリカでも、都市によっては一箱千円以上になることも多いと分かりました。このように、たばこ税は「税金を集めるだけ」ではなくて、「私達の健康を守るため」に使われているということが分かりました。

そして、私は日本も同じようにたばこの税金を高くして人々を病気から守ればいいと思いました。

私は税金を調べて、面白いところもあるんだなって思いました。たばこ税のように、税金には私達の健康や安全のために使われているということを知りました。

これからは、どんな税金がどのように使われているかを勉強して私達のどこで役立っているのかを知って考えてから、行動していくことが大切なのだと考えさせられました。